

# 金木だより

発行 青森県金木町役場

編集 企画室

昭和54年8月号



成人おめでとう

# 新成人紹介

八月十五日、中央公民館で成人を祝う会が行われました。八月に会が開かれるようになってから五回目の今年は、参加者も約百六十名とふえ、服装も以前と違い、着物姿はあまり見られませんでした。

町長ほか来賓の祝辞にこたえ、新成人を代表して秋元建一君が、りっはなおとなになりますと答辞してました。成人になられた方々は次のとおりです。

(昭和五十四年)

※金木(カッコ内世帯主)

〔本町〕 沢田睦子(孝) 一

〔栄町〕 金沢孝昭(稚雄) 長

尾初男(理) 鈴木孝子(文

吉) 尾野美智子(本人) 藤

元美紀(良造) 鳴海隆弘(

義男) 小林達英(ユキ) 藤

元敬子・康子(栄) 田中竜

夫(敬治) 〔南新町〕 長利

智栄子(栄次) 秋村良子(

稚春) 渋谷諄(幸男) 〔上

山道町〕 中村昌子(広) 〔

中山道町〕 藤元昭子(良次

郎) 吉田みつ(陽一郎) 北

川久子(利雄) 藤元里美(

兼五郎) 田中清晴(清美)

〔下山道町〕 葛西圭二(文

昭) 脇神律子(功藏) 〔美

晴町〕 須崎八千代(寅雄)

館山淳也(義一) 工藤治(

昭一) 〔昭和町〕 角田正元

(定由) 山崎年廣(直一)

対馬幸一(兼正) 白川絹子

(リエ) 角田豊弘(豊勝)

福土豊(リサ) 藤田雪江(

孝) 〔旭ヶ岡団地〕 宮丸喜

美子(彰宏) 外崎イク子(

フデ) 〔大東ヶ丘〕 川瀬世

紀夫(強浩) 〔朝日町〕 角

田健彌(由吉) 小山内正仁

(政次郎) 工藤文子(一弘

) 古川博章(佐工門) 〔神

明町〕 阿部陽一(久治) 葛

西克彦(勲) 安田トモ子(

柁四郎) 水上孝一(喜美枝

) 〔北新町〕 山崎雅子(惣

太郎) 山田ひとみ(文治郎

) 秋谷幸子(清) 〔寺町〕

松島浩人(恒栄) 柴田敦子

(秀雄) 〔荻野町〕 中村恵

子(吉永) 角田淳子(善正

) 白川晃(本人) 〔新富町

) 原田百合代(俊治) 松尾

志郎(正一郎) 中村真弓(

正永) 三橋淳治(勝利) 〔

若松町〕 小野正人(正幸)

松尾力(正五郎) 加藤和子

(良成) 対馬春美(重雄)

清野久(等) 大川俊成(義

則) 今昭徳(本人) 藤田智

紀(亮三) 〔見崎町〕 三濁

多佳子(朝男) 〔米町〕 高

橋良子(葉二) 津島忠美子

(俊雄) 黒沼美智子(留吉

) 野宮睦子(ミツヨ) 〔川

端町〕 徳田明靖(吉太郎)

長尾晃彦(新太郎) 〔荻野

団地) 木村ゆう子(好勝)

今栄美(陽子) 〔藤枝) 原

田聡(則雄) 小山内むつ(

孫一) 工藤孝子(平三郎)

外崎裕子(明) 工藤文久(

彌一郎) 工藤一男(勇義

) 成田康仁(平三) 荒井トモ

子(繁雄) 〔下宇田野〕 泉

谷正路(正雄) 中谷夏美(

喜代則) 中谷彰幸(松男)

〔上宇田野〕 中谷彰晴(正

六郎) 工藤秀子(兼次郎)

中谷光江(金藏) 〔女坂)

浅利正彦(勇太郎) 泉谷朋

広(佐兵衛) 泉谷知明(則

昭) 〔林下) 白川浩世(金

助) 〔湯の川) 白川富紀子

(イサ) 中谷年文(ミツ)

〔神原) 秋元建一(東助)

長尾文子(憲康) 前田淳子

(礼之助) 石戸谷完造(寅

徳田照民(伝七) 白川輝彦

(清光) 白川幹治(兼澄)

田中江久代(忠藏) 白川峰

仁(峰雄) 佐藤紀恵子(サ

ツ) 秋元諄浩(諄栄) 齊藤

松男(定一) 徳田テイ子(

政雄) 〔沢部) 白川千秋(

欣造) 津島文子(修治) 白

川幸蔵(幸雄) 白川弘行(

定行)

※嘉瀬

〔上小栗崎) 山中千穂子(

竹春) 鎌田俊二(スサ)

〔中小栗崎) 小松進(サキ)

棟方国仁(フミヨ) 〔下小

栗崎) 伊藤隆慈(清慈) 鎌

田正江(由正) 伊藤真理子

(柁雄) 伊藤修(定雄) 〔

上派立) 沢田里美(久美)

沢田津花子(国美) 〔中派

立) 伊藤視朗(朝子) 〔下

派立) 山中啓三(昭三) 櫛

引春喜(繁松) 内海淑子(

精藏) 〔上新町) 対馬治則

(治好) 青山文明(富雄)

鳴海君代(和樹) 〔下新町

) 木下勇市(勇造) 〔下昭

和町) 今ゆい子(真雄) 沢

田公(茂) 阿部信二(末太

郎) 〔上昭和町) 木立安圭

美(久一) 木立靖英(英治

(賢樹) 沢田恵江(憲道)

山中信弘(秀雄) 山中敏敬

(文蔵) 秋村春彦(粕太郎

) 今弘昭(金一) 今弘師(

喜代治) 〔後町) 齊藤恵美

子(正志) 鳴海公德(照)

山中恵姫子(金吾) 山中幸

子(伊次郎) 〔下古町) 内

海比呂江(勘六) 白崎秀孝

(忠徳) 〔上古町) 鳴海誠

治(俊男) 中村比名子(兼

道) 沢田美保子(武) 前田

哲江(正光) 〔新誠町) 津

田りり子(チセ) 山中浩(

林一) 秋元洋子(惣之進)

〔新提町) 尾野正英(正明

) 〔下鍛冶町) 木下清勝(

清一) 津田百子(サツコ)

〔下中柏木) 原田栄利子(

興四郎) 原田博(国満) 高

橋恵美子(光男) 田中克明

(清太郎) 原田忠典(勘衛

門) 原田郁子(正信) 〔上

中柏木) 小山内美智子(み

さ) 原田敦子(藤松)

※喜良市

〔川端町) 今浩子(憲雄)

古川直子(定光) 伊九岡富

士子(秀昭) 伊九岡毅(金

作) 古川さち子(兼則) 〔

下町) 今京子(清美男) 今

子(邦美) 〔上柏木町) 今

万利子(万五作) 千葉英徳

(嘉英) 〔南本町) 今龍二

(京一) 今和彦(健三) 長

尾聡(勇次郎) 古川哲広(

哲雄) 伊九岡和子(貞) 古

川良夫(兼雄) 〔下派立)

棟方久幸(正幸) 大橋郁也

(浩) 〔上派立) 桑田隆幸

(茂則) 伊九岡伸彦(浅五

郎) 桑田不二治(男治) 米

谷博志(甚九郎) 田中朋子

(重光) 〔双葉町) 齊藤克

彰(利雄) 桑田ゆりか(清

則) 鎌田浩明(武) 宮館和

子(修) 〔野崎) 岡田優美

子(健三郎) 田村隆明(リ

セ) 鳴海剛(贊) 〔林町)

今慶則(慶八郎) 葛西亮一

(金五郎) 西村淳(昭八

米谷友美子(キス) 〔東岩

見町) 大橋優(不二夫) 大

橋孝治(豊秀) 中村敏子(

兼雄) 木立二夫(ふさ) 外

崎友子(謙吉) 〔西岩見町

) 伊藤雪子(忠作) 齊藤京

子(幸雄) 近藤文子(砂吉

) 桑田広美(則子) 〔更生

部落) 葛西友子(栄通) 工

藤司(由蔵) 成田昌利(泰

三) 工藤久子(俊男) 今昭

雄(定平) 吉崎睦子(定雄



蟹釣り

「蟹釣り」といえば、今ではちよつと首をかしげるだろう。もうそんなに蟹も珍らしくなったが、昭和十年頃までは金木川でも随分蟹が釣れたものだ。

太い鉄線で直径一尺二寸ぐらいの丸い輪を作る。真中が袋になるようにメス糸で網を編んでおき、これを丸い輪の四方に糸で結びつけ、凧の加減糸のように一本にまとめ、根曲り竹の長い端にしっかり結ぶ。これで蟹釣りの道具が出来上り。餌は田ツブの殻を取り去ったのを、細い針金に通し輪の中央につける。田ツブがない時はマスの頭でもよい。そして蟹が隠れていそうな障害物の近くにそつと仕掛けておく。一人で十カ所ぐらいにやっておくのである。

雨が降って増水し、水が



濁っている時が一番釣れる一番先におろしておいたものから順ぐりに上げるが、一時間毎にするのである。蟹は、一匹といわずイッパイ（一杯）という。大きなやつはその手ごたえでわかるが、これはハサミの毛がモジャモジャしている。こうした大物をワツパ蟹といつた。小さいのはクモ蟹である。

ある。一晩に三十から五十も釣れたもので、大物がどんどんかかるとやめられないものだ。

さて、この料理法。蟹カヤギは、青空の下で鍋をかけるのがなんといつても一番。蟹は甲羅をとって、鍋に一度入れ、それに畑から取りたてのナスを入れて煮るのである。蟹のハタギ（カマボコ）はこれにまさるのだが、大量にとれた時でないといダワシクテ（もつた）いなくて）やられない。最後に、蟹釣りの思い出の一つ。

ある時、一緒に蟹釣りしていた仲間のカイムのオヅ（嘉衛門の次男坊）が、しがらみに引っかかった自分の網を取ろうとして濁流めがけてざぶんとばかり飛び込んだ。ところがなかなか出て来ないので、皆で心配していたところ、三十間ほど下流の岸に這い上がって来た。見ると手には大きな蟹を握り、口に網をくわえていた。ふだんはおとなしい彼のその怪童ぶりに皆なは大いに驚き、ヤンヤの拍手だった。



(3保、さくら組のみなさん)



(4保、まつ組のみなさん)

わたしたちを  
交通事故から守ってね！



(1保、ちゅうりっぷ・ひよこ組のみなさん)



(2保、ききょう組のみなさん)

# お願い

## インベーダーゲーム

### について

—金木町校外指導連絡協議会—

みなさんご承知のようにインベーダーゲームの流行は全国的なものであり、県内においてもかなり盛んです。

このゲームは非常にお金

がかかり、生徒の無駄づかいが心配されます。町内の二つの中学校でおこなったアンケート結果によると、インベーダーゲームをしたことがあると答えた生徒は

全体の六割以上にのぼり、その半数は一回に使ったお金が五百円以内と答えていますが、なかには一回で二千五百円も使ったという生徒もいました。

他の地区ではこれに関連して、ゲーム代欲しさに盗みをしたり、また夜遊びやその他のいろいろな問題が起きてきていることは新聞等の報道でご存じのことと思いま

す。当協議会では他の指導団体との連絡のもとに、生徒の健全育成という観点からインベーダーゲームをさせないよう申し合わせ、指導しておりますので、この旨をご理解され、ご協力下さい。

## 習字・絵画の作品を募集中

県と県国民年金協会では国民年金展を十一月に開催することになり、小学生の習字、絵画作品を募集しています。

この国民年金展は、今年で十五回目をむかえますが毎年たくさん応募があり小学生の書画教育の向上に寄与しています。

### 町の話題

次の方々より金木町社会福祉協議会へ寄付がありがとうございます。

### 町の話題

○工藤 節さん (二千元)  
○松山明央さん (三千元)  
○相馬秋雄さん (六千五百円)

るようお願いいたします。

### 戸籍の窓口

### ご誕生おめでとう



なお、応募のしめ切りは九月三十日までとなっておりますが、詳しいことは町民課国民年金係でお尋ねください。

- (六月届出分)
- 阿部 真也(昌弘) 金木
  - 今 俊樹(裕嗣) 喜良市
  - 成田 陽平(徹夫) 金木
  - 前田 修和(正廣) 神原
  - 鳴海 寿美(博友) 嘉瀬
  - 津島 邦良(隆) 金木
  - 竹内 玲子(恆孝) 藤枝
  - 角田 亜也子(喜三) 金木
  - 仙場 寛明(謙厚) 〃
  - 丹場 里香子(正平) 〃
  - 伊藤 麻生(敏) 喜良市
  - 根井 亮輔(勝) 金木
  - 今 沙夜佳(輝蔵) 喜良市

- 泉谷正樹さん (二万六千五百円) ありがとうございます。
- 工藤 健児(勝栄) 金木
- 阿部 洋介(祐司) 〃
- 神島 弘和(忠蔵) 嘉瀬
- 津島 宗治(文夫) 金木
- (七月届出分)
- 山中 省悟(知彦) 嘉瀬
- 山中 直輝(知彦) 〃
- 桑田 貴幸(直喜) 喜良市
- 大橋 ひかる(幸則) 〃
- 山中 潤哉(満春) 嘉瀬
- 松川 拓也(修身) 〃
- 加藤 聖子(敬守) 金木
- 伊丸岡 緑(仁) 喜良市
- 木下 真理子(強) 嘉瀬
- 宮崎 愛(節男) 喜良市
- 岡田 摩耶(由紀夫) 喜良市
- 沢田 幸一(道幸) 嘉瀬
- 白川 葵(勝信) 金木
- 角田 真樹子(修一) 〃
- 山中 梢子(久一) 嘉瀬
- 新岡 史英(正一) 金木
- 伊藤 欣司(充) 川倉
- 古川 友美(良三) 喜良市
- 棟方 陽子(馨) 嘉瀬
- 齊藤 梨恵(幸治) 喜良市
- 田中 亜弥(義久) 金木
- 原田 千夏子(哲) 嘉瀬

### 町の人口と世帯数

男	7,294人
女	7,470人
計	14,764人
世帯数	3,888世帯
(S54.7.31現在)	

### ご結婚 おめでとう




今 希巴子(正紀) 喜良市  
 山中真理奈(久史) 嘉瀬  
 相馬 泰樹(敏夫) 金木  
 白川ひさ子(義康) 川倉  
 中田 圭(逸男) 嘉瀬  
 伊丸岡奈津美(敏昭) 喜良市  
 角田 有希(孝志) 金木  
 木下 博登(真一) 嘉瀬  
 山中 靖子(啓司) 嘉瀬

(六月届出分)  
 加藤 誠(友太郎) 稲垣  
 白川留理子(泰直) 金木  
 小笠原清貴(貞之助) 金木  
 吉川由美子(昭三) 徳島県  
 安田 実(柁四郎) 金木  
 小山内直子(直道) 青森市  
 中村 行夫(善作) 喜良市  
 小山内トモ子(久一) 車力  
 尾越 英樹(悟) 福岡県  
 中谷千香子(喜代則) 川倉  
 木村 幸三(重雄) 弘前市  
 津島 七枝(多七) 金木  
 齊藤 貢(年一) 平賀町  
 伊丸岡和子(徳盛) 喜良市  
 高橋 伸幸(勝治) 金木  
 細川千可子(利雄) 秋田県  
 木村一夫(長四郎) 五所市  
 松川百合子(清) 嘉瀬  
 鎌田 文雄(政四郎) 鶴田  
 秋元 美幸(昇) 金木  
 奈良 護(俊徳) 金木  
 白川恵里子(勝美) 金木  
 外崎 義雄(要吉) 中里町  
 木下 シゲ(幸八) 金木  
 乗田政則(柁五郎) 五所市  
 西村恵美子(明) 喜良市  
 荒井 英俊(国雄) 金木  
 東島真由美(貞見) 佐賀県  
 菅原 謙一(四郎) 八戸市  
 三濁 生子(朝男) 金木  
 山川 辰弘(清光) 愛知県  
 今 けい子(清) 嘉瀬  
 工藤 文浩(政吉) 中里町  
 佐藤 けい子(藤義) 喜良市  
 傍島 正純(正文) 蒔田  
 中村富枝子(菊男) 川崎市  
 藤元弘昭(千代太郎) 車力  
 秋元 敦子(常貞) 金木  
 松尾 勝治(兵五郎) 金木  
 成田 哲子(利雄) 五所市

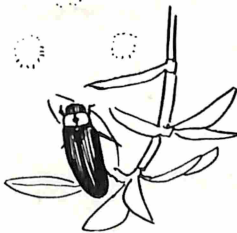
(七月届出分)  
 角田 周(祥子) 金木  
 田中美也子(市郎) 兵庫県  
 岩谷 昭則(喜三郎) 深浦  
 米谷 優子(豊七) 喜良市  
 白川 洋嗣(直太郎) 金木  
 佐々間文子(正) 青森市  
 菱田 秋夫(新七) 京都市  
 山中 弘子(義廣) 中柏木  
 菅原 隆幸(省三) 新潟県  
 山中 禮子(信禮) 嘉瀬  
 原田 清司(善八) 中柏木  
 笠井節子(清三郎) 五所市  
 白戸 明(柏吉) 車力村  
 斎藤 純子(亀一) 嘉瀬  
 大橋 良昌(由吉) 喜良市  
 泉谷 照子(良七) 川倉  
 森 薫(芳竹) 喜良市  
 石戸谷勢津子(健一) 金木  
 工藤 良明(順一) 川倉  
 小原久美子(定治) 北海道  
 横山定雄(定五郎) 喜良市  
 山本 良子(由吉) 中里町  
 土岐 清徳(常男) 嘉瀬  
 斎藤 裕子(繁則) 稲垣村  
 棟方 利一(永吉) 嘉瀬  
 柏谷ナツエ(三太郎) 愛知県  
 長谷川善久(権太郎) 弘前市  
 吉村 久江(彦一) 金木  
 藤澤 修(光雄) 東京都  
 桑田ひろ子(政次郎) 喜良市  
 秋田谷 茂(敏雄) 木造町  
 伊藤 ヒサ(宮雄) 喜良市  
 桑田 守(邦夫) 喜良市  
 工藤 京子(耕作) 木造町

### おみやげ おしあげます



(六月届出分)  
 野宮喜三郎(71) 金木  
 白川千代治(47) 〃  
 泉谷嘉四市(64) 嘉瀬  
 泉谷 タキ(73) 川倉  
 泉谷 カ子(81) 〃  
 中川 亀治(80) 喜良市  
 藤元 リツ(75) 金木  
 荒岡 やな(85) 〃  
 白川 ちよ(86) 川倉  
 福士 政雄(43) 金木  
 丹場 東一(67) 金木  
 伊藤 ツヤ(68) 嘉瀬  
 山田 み(87) 喜良市  
 澤田 クニ(69) 金木  
 鈴木 秀男(73) 〃  
 工藤平三郎(77) 藤枝  
 山中 松茂(69) 嘉瀬  
 津島 ミエ(74) 金木  
 木下徳之助(76) 金木  
 山中 哲男(72) 嘉瀬  
 平野 健一(55) 金木  
 成田 一(52) 中柏木  
 白川 稔(37) 蒔田  
 尾野 ハギ(76) 金木  
 田中 東一(67) 金木  
 伊藤 ツヤ(68) 嘉瀬  
 山田 み(87) 喜良市  
 澤田 クニ(69) 金木  
 鈴木 秀男(73) 〃  
 工藤平三郎(77) 藤枝  
 山中 松茂(69) 嘉瀬  
 津島 ミエ(74) 金木  
 木下徳之助(76) 金木  
 山中 哲男(72) 嘉瀬

(七月届出分)  
 須崎 寛樹(繁男) 嘉瀬  
 前田夕起子(清光) 金木  
 中山 義昭(トニ) 川倉  
 杉山勝信(金之丞) 中柏木  
 鳴海 栄子(繁七) 嘉瀬  
 秋元 條二(兼雄) 嘉瀬  
 秋元 かつ子(耕作) 稲垣村  
 遠藤辰雄(新太郎) 北海道  
 黒川ヨツエ(松男) 嘉瀬  
 増田 隆(安雄) 金木  
 山森 保江(トヨ) 東京都  
 伊藤 晋(文雄) 喜良市  
 葛西睦子(興三郎) 木造町  
 工藤 柁春(柁治) 五所市  
 奈良 和子(勝雄) 喜良市  
 坂本兼三郎(亮一) 五所市  
 大川 昌子(興助) 中柏木  
 山田 豊(勝四郎) 金木  
 工藤留美子(哲男) 常盤村  
 櫻庭 昭夫(源内) 喜良市  
 野上美津子(豊作) 中里町



## 編集後記

空模様はおちつかないといえ、あの暑さのひどかつた八月も過ぎ、雲のゆきかいかや草木のたたずまいは日増しに秋の気配が濃くなって、いよいよ「新涼の秋」を迎えました。

九月は古名を「長月(ながつき)」といいます。この月が特に日数が多いわけでもないのに「長月」はおかしいと「年浪草」には「夜長月」の略だろうと解釈しています。

我が家の庭で聞く虫の演奏会は、秋の夜長のたのしいひとときですが、九月はいやな台風シーズンです。台風は毎年必ずといっていいほどやってきて、日本のどこかへ上陸します。たとえ上陸しなくても、近くを通れば大雨を降らせたりして被害を残して行きます。

「災害は忘れたころにやってくる」といわれます。もしもの時、家族はどこへ逃げるかを話し合っておくかが……。